※17.〔固定資産の減損関係〕

Ⅰ．減損を認識した固定資産

⑴　北海道中央労災病院せき損センター職員宿舎他18件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　職員宿舎等

場　所　北海道美唄市他

種類及び帳簿価額　建物等　帳簿価額　25,900,593円

土　地　帳簿価額　453,027,223円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
建　物	—	25,885,599円
構　築　物	—	14,824円
土　地	—	—

エ　減損の兆候の有無について、複数の固定資産を一体として判定した場合における、当該資産の概要及び当該資産が一体としてそのサービスを提供すると認めた理由

職員宿舎等は、建物・設備が一体となって初めて成り立つものであり、建物・構築物を一体としてそのサービスを提供するものと認められました。

オ　回収可能サービス価額

建物等　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、売却見込みがないため備忘価額を用いております。

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、路線価に基づいており、帳簿価額を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

⑵　九州労災病院門司メディカルセンター職員宿舎他３件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　職員宿舎

場　所　福岡県北九州市他

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　44,771,608円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土　地	—	2,037,108円

エ　回収可能サービス価額

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額を用いております。

⑶　水上荘他１件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　休養所

場　所　群馬県利根郡他

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　83,299,458円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土　地	—	23,829,458円

エ　回収可能サービス価額

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額を用いております。

⑷　旧和歌山労災病院

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　病院跡地

場　所　和歌山県和歌山市

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　293,410,950円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。

ウ　減損額のうち損益計算書に計上した金額と計上していない金額の主要な固定資産ごとの内訳

種　類	損益計算書に計上した金額	損益計算書に計上していない金額
土　地	—	—

エ　回収可能サービス価額

土　地　正味売却価額としております。

正味売却価額の算定に当たっては、不動産鑑定評価額に基づいており、帳簿価額を下回っていないため、減損損失は計上しておりません。

⑸　旧労災リハビリテーション北海道作業所他１件

ア　減損を認識した固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

用　途　作業所跡地

場　所　北海道美唄市外

種類及び帳簿価額　土　地　帳簿価額　182,650,000円

イ　減損の認識に至った経緯

固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性が著しく低下しており、当該資産の全部の使用が想定されていないため、減損を認識しております。